

#983 ICT施工で安心安全な建設現場を実現



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 北海道士別市

道路土工、法面工、及び排水構造物工等を施工する工事

【施工数量】延長：2,220m 土量：盛土33,800m³ 切土32,300m³

【ソリューション】 Smart Construction 3D Machine Guidance/スマートコンストラクションアプリ/転圧管理システム

【稼働建機】 PC200i/D61PXi

(掲載月：2024年9月)

未来の建設業のためICT施工の推進



大幅な工数削減を実現！



■ ■ 導入経緯 ■ ■

代表取締役社長 手塚則博さん

当社は、コマツのICT建機やSmart Construction 3D Machine Guidanceを複数台所有しています。ICT建機は、ICT施工が普及しているこの時代に対応するための武器であり、建設業をになうものにとっての必需品であると考えています。また、昨今の建設業界の高齢化に伴い、ICT施工による省力化を積極的に行い次の世代の人間を育てることが必要だと思えます。

当社では若い人にも建設業へ興味を持ってもらえるように、建設機械のカラーリングにも工夫をしています。これまでもICT建機を複数台利用し、生産性向上を実感していたため今回の現場でもこれまでの現場同様工数削減の効果が見えることを期待して導入しました。

■ ■ 導入効果 ■ ■

代表取締役社長 手塚則博さん

今回の現場は切土と盛土箇所が広範囲であったため、ICT建機を導入したことで丁張りが不要になり、大幅に工数削減ができました。

また、最も満足している点は安全面での効果です。すべてICT建機で行っているため測量作業員が不要になりました。

また、KomVisionの人検知衝突軽減システムでは、建機周辺に人を認識し、検出するとブザーが発砲され建機も停止するため安全性も向上し大変満足しています。

当社では、5年ほど前から新車納入時に油圧オートカプラを導入していますが、一瞬でアタッチメントの切り替えが可能で指をはさむなどの事故リスク軽減にもつながっています。

今回、ICT施工で現場を進めたことによって従来施工したときと比べ30%程度の工数削減を見込むことができました。今後も会社のため、未来の建設業のためにもICTの導入を積極的に進めていきたいと思えます。

(株)手塚産業 様

設立 1962年

これまでの信頼と実績をもとに安く・早く・安全施工をモットーとし、お客様に満足して頂ける良い製品づくりに日々努力しております。

ICT建機を多数保有し各現場で使用しています。

<https://tzksangyou.jp/>



代表取締役社長 手塚則博さん



土木部工事主任 新井田雄二さん